

# PIMCO グローバル・ ターゲット戦略債券ファンド 2021-06(限定追加型)

【運用報告書(全体版)】

(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

第 2 期

決算日 2023年6月13日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

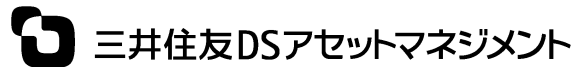
商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2021年6月8日から2025年6月13日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国・地域の米ドル建て債券（投資適格未満を含む）に投資し、安定的なインカム収入の確保を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド 2021-06 - クラスJ(JPY) 世界（日本を含む）の投資適格未満を含めた米ドル建て債券 マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として世界各国・地域の米ドル建て債券（投資適格未満を含む）に投資し、安定的なインカム収入の確保を目指します。 ■原則としてファンドの償還日前に満期を迎える債券に投資し、満期日まで保有する「持ち切り運用」を行います。信託期間中に満期を迎えた場合には、ファンドの償還日前に満期を迎える別の債券への再投資を行う場合があります。 ■原則として約4年間にわたり期間固定の対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減に加え為替ヘッジコストの変動リスクの抑制も目指します。 ■当ファンドの運用指図に関する権限の一部をピムコジャパンリミテッドに委託します。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年6月13日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国・地域の米ドル建て債券（投資適格未満を含む）に投資し、安定的なインカム収入の確保を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2021年6月8日	10,000	—	—	—	—	101,575
1期(2022年6月13日)	9,767	0	△2.3	0.0	99.3	115,793
2期(2023年6月13日)	9,872	0	1.1	0.0	98.9	114,633

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2022年6月13日	9,767	—	0.0	99.3
6月末	9,550	△2.2	0.0	99.5
7月末	9,594	△1.8	0.0	99.8
8月末	9,689	△0.8	0.0	99.7
9月末	9,570	△2.0	0.0	99.9
10月末	9,632	△1.4	0.0	99.8
11月末	9,741	△0.3	0.0	100.0
12月末	9,791	0.2	0.0	99.7
2023年1月末	9,912	1.5	0.0	99.6
2月末	9,933	1.7	0.0	99.8
3月末	9,819	0.5	0.0	99.8
4月末	9,847	0.8	0.0	100.0
5月末	9,835	0.7	0.0	100.0
(期末)				
2023年6月13日	9,872	1.1	0.0	98.9

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,767円
期末	9,872円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+1.1% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての債券および債券関連派生商品などに投資しました。また、米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行いました。

なお、運用の指図に関する権限の一部をピムコジャパンリミテッドに委託しています。

#### 上昇要因

- 債券利子収入を得たこと
- 保有社債の多くでスプレッド(国債に対する上乘せ金利)が縮小したこと

#### 下落要因

- 為替のヘッジコストがかかったこと

## 投資環境について(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

米国債券市場は小幅に上昇しました。米国社債、米国ハイイールド社債も上昇しました。

米国債券市場は、期の前半、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長がインフレ抑制に向けて利上げを継続する姿勢を明確にしたことなどを受けて下落しました。期の後半には、急速な金融引き締めが景気後退につながるなどの懸念が高まるなか、米地方銀行の破綻やクレディ・スイスの経営危機を受けて金融

不安への警戒感が高まり投資家のリスク回避姿勢が強まりました。市場で利上げ停止が近いとの観測が高まったこともあり、上昇に転じました。

米国社債および米国ハイイールド社債のスプレッドは、概ね前期末とほぼ同水準から小幅な縮小となりました。

## ポートフォリオについて(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

## 当ファンド

期初より「PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ(JPY)」および「マネー・トラスト・マザーファンド」に投資し、「PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ(JPY)」の投資比率を高位としました。

## PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ(JPY)

保有債券を各債券の満期まで保有する「持ち切り運用」を行いません。運用開始時に、ファンドの償還日までに満期を迎えることが

見込まれる債券を組み入れました。そのなかの複数の銘柄は期限前償還を受けました。

## ●債券セクター配分

セクター別では、各種金融、銀行、ホテルなどを中心に投資を行いました。

## ●格付け別配分

投資適格社債への投資を中心としつつも、信用環境の改善が進むなか、割安で魅力的な利回りを有する銘柄への投資機会が豊富な状況を踏まえて、相対的に格付けの高いBB格を多く組入れるなど、質の高さを重視してハイイールド社債への投資を一定程度行いました。

## ●残存期間別配分

期末において、残存1-2年のウェイトは全体の約70%としました。

## マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	0

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ (JPY)」の組入れを高位とします。

### PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ (JPY)

米国では、米地方銀行の破綻を受けて金融当局が中小の金融機関に対する規制を強化することにより、貸出姿勢が慎重化する可能性がありますと考えています。高金利環境の下で企業の資金調達が更に困難となり得る点も鑑みて、従来の想定よりも早い段階で同国が景気後退に入る可能性が高まったとみています。

金融政策については、欧米の中央銀行の利上げ停止のタイミングが近付きつつあるとみ

ています。ただし、利下げを開始するためにはインフレ率が中央銀行の目標水準にまで低下する必要があり、金融緩和への転換までには相応の時間を要すると予想しています。

当ファンドにおいては、原則として保有債券を各債券の満期まで保有する「持ち切り運用」により、ファンド償還時における、債券価格の変動によるファンドの基準価額への影響を抑制しつつ、インカムの着実な積み上げを中心としたリターンの追求を目指します。

ウクライナのエクスポージャーについて、状況を精査しながら保有継続か売却かの検討を進めています。

### マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 1万口当たりの費用明細(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	94円	0.968%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は9,752円です。
( 投 信 会 社 )	(48)	(0.495)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
( 販 売 会 社 )	(43)	(0.440)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.033)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 公 社 債 )	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.005	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(-)	(-)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.005)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	そ の 他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	95	0.973	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

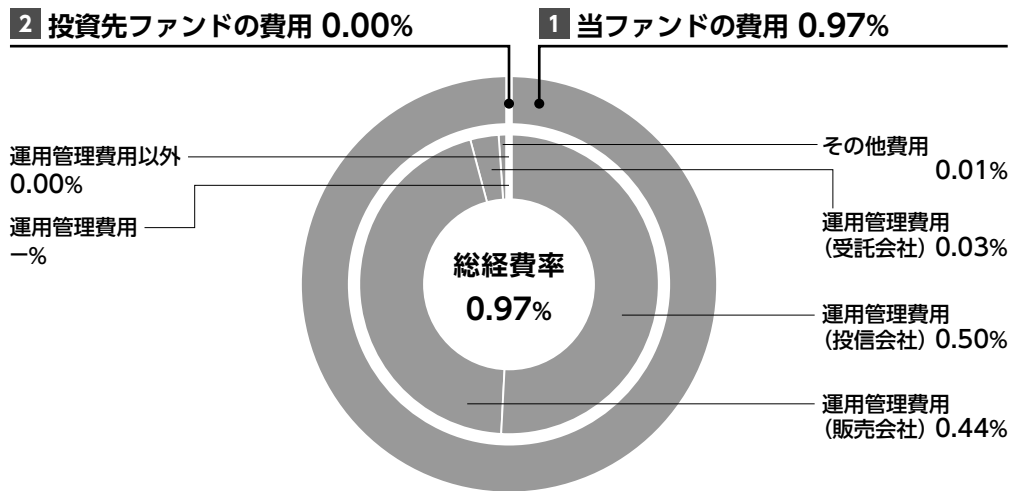
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。





## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>0.97%</b>
<b>1</b> 当ファンドの費用の比率	<b>0.97%</b>
<b>2</b> 投資先ファンドの運用管理費用の比率	<b>-%</b>
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	<b>0.00%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目録見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。ただし、投資先ファンドでの運用管理費用は、当ファンドの運用委託報酬の中から負担しているため、開示すべき運用管理費用はありません。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.97%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド 2021-06 - クラスJ(JPY)	□ -	千円 -	□ 392,621	千円 3,912,386

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2022年6月14日から2023年6月13日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2023年6月13日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド 2021-06 - クラスJ(JPY)	□ 11,661,316	□ 11,268,694.8635	千円 113,419,413	% 98.9
合 計	11,661,316	11,268,694.8635	113,419,413	98.9

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## (2)親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・トラスト・マザーファンド	千口 903	千口 903	千円 899

※マネー・トラスト・マザーファンドの期末の受益権総口数は16,009,841口です。

## ■ 投資信託財産の構成

(2023年6月13日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 113,419,413	% 98.5
マネー・トラスト・マザーファンド	899	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,784,256	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	115,204,569	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年6月13日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	115,204,569,102円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,784,256,024
投資信託受益証券(評価額)	113,419,413,801
マ ネ ー ・ ト ラ ス ト ・ マ ザ ー フ ァ ン ド ( 評 価 額 )	899,277
(B) 負 債	570,618,943
未 払 解 約 金	11,937,943
未 払 信 託 報 酬	555,657,848
そ の 他 未 払 費 用	3,023,152
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	114,633,950,159
元 本	116,125,592,797
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,491,642,638
(D) 受 益 権 総 口 数	116,125,592,797口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	9,872円

※当期における期首元本額118,550,569,482円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額2,424,976,685円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2022年6月14日 至2023年6月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 264,234円
受 取 利 息	18,547
支 払 利 息	△ 282,781
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,323,121,489
売 買 損 益	2,337,736,152
売 買 損 益	△ 14,614,663
(C) 信 託 報 酬 等	△1,113,922,032
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	1,208,935,223
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,699,127,439
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,450,422
( 配 当 等 相 当 額 )	(△ 1,345)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 1,449,077)
(G) 合 計 ( D + E + F )	△1,491,642,638
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	△1,491,642,638
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,450,422
( 配 当 等 相 当 額 )	(△ 1,345)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 1,449,077)
繰 越 損 益 金	△1,490,192,216

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投資の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投資には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は377,646,438円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	0
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	0.00
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

## ■ 分配金のお知らせ

	当 期
1 万 口 当 た り 分 配 金 ( 税 引 前 )	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

### 投資信託証券の概要

ファンド名	PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ (JPY)
形態	パミュエダ籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	世界（日本を含む）の投資適格未満を含めた米ドル建て債券
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として世界各国の米ドル建て投資適格社債を中心に投資を行い、約4年の運用期間においてインカムの積み上げを中心とした安定的なリターンを追求します。</li> <li>・原則として約4年間にわたり期間固定の対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの抑制に加えヘッジコストの変動リスクの抑制も目指します。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則としてファンドの償還日前に満期を迎えることが期待される債券に投資します。</li> <li>・投資適格未満の債券および新興国債券への投資比率の合計は総資産の45%を上限とします。</li> <li>・投資を行う債券の最低格付はB-とし、組入債券の平均格付はBBB-以上とします（債券購入時）。</li> <li>・米ドル建て以外の通貨建ての債券への投資は行いません。</li> </ul>
分配方針	原則として年1回分配を行う予定です。 ただし、分配を行わないことがあります。
運用管理費用	ありません。
その他の費用	<p>ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド2021-06 - クラスJ (JPY)」をシェアクラスとして含む「PIMCOクレジット・バイ・アンド・ホールド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

## ■ 損益計算書 (2021年6月8日(設定日)から2022年6月30日まで)

(単位：千米ドル)

投資収益	
受取利息(外国税控除後)	23,864
受取配当	0
収益合計	<u>23,864</u>
費用	
支払利息	8
雑費	0
費用合計	<u>8</u>
投資純損益	<u>23,856</u>
実現純損益	
有価証券に対する投資(外国税控除後)	(788)
市場取引又は中央清算金融デリバティブ取引	(2,163)
OTC金融デリバティブ商品	(158,544)
外国通貨	(502)
実現純損益	<u>(161,997)</u>
未実現評価損益の純変動額	
有価証券に対する投資(外国税控除後)	(87,182)
市場取引又は中央清算金融デリバティブ取引	37,968
OTC金融デリバティブ商品	(55,194)
外貨建資産および負債	270
未実現評価損益の純変動額	<u>(104,138)</u>
純損益	<u>(266,135)</u>
運用の結果による純資産の純増減額	<u>(242,279)</u>
外国税額	<u>20</u>

\*千未満の数値は四捨五入により0表記されています。



PIMCO グローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06 (限定追加型)

	額面 (単位:千)	評価額 (単位:千)		額面 (単位:千)	評価額 (単位:千)		額面 (単位:千)	評価額 (単位:千)
<b>ペルー 0.2%</b>								
社債券 0.2%								
<b>Banco de Credito del Peru S.A.</b>								
2.700% due 01/11/2025	\$ 2,000	\$ 1,881						
<b>ペルー 計</b>		<b>1,881</b>						
(取得原価 2,046ドル)								
<b>ロシア 0.1%</b>								
社債券 0.1%								
<b>MMK International Capital DAC</b>								
4.375% due 06/13/2024	1,900	684						
<b>ロシア 計</b>		<b>684</b>						
(取得原価 1,992ドル)								
<b>シンガポール 1.2%</b>								
社債券 1.2%								
<b>LMIRT Capital Pte Ltd.</b>								
7.250% due 06/19/2024	3,000	2,685						
<b>TML Holdings Pte Ltd.</b>								
5.500% due 06/03/2024	7,000	6,781						
<b>シンガポール 計</b>		<b>9,466</b>						
(取得原価 10,274ドル)								
<b>南アフリカ 0.6%</b>								
社債券 0.6%								
<b>Sasol Financing USA LLC</b>								
5.875% due 03/27/2024	5,300	5,197						
<b>南アフリカ 計</b>		<b>5,197</b>						
(取得原価 5,563ドル)								
<b>スイス 2.8%</b>								
社債券 2.8%								
<b>UBS AG</b>								
5.125% due 05/15/2024 (b)	22,700	22,695						
<b>スイス 計</b>		<b>22,695</b>						
(取得原価 24,265ドル)								
<b>トルコ 0.2%</b>								
社債券 0.2%								
<b>Turk Telekomunikasyon AIS</b>								
6.875% due 02/28/2025	1,800	1,613						
<b>トルコ 計</b>		<b>1,613</b>						
(取得原価 1,943ドル)								
<b>英国 1.8%</b>								
社債券 1.8%								
<b>International Game Technology PLC</b>								
6.500% due 02/15/2025	4,700	4,685						
<b>NatWest Group PLC</b>								
4.269% due 03/22/2025	10,000	9,906						
<b>英国 計</b>		<b>14,591</b>						
(取得原価 15,638ドル)								
<b>米国 56.9%</b>								
社債券 56.9%								
<b>AMC Networks, Inc.</b>								
5.000% due 04/01/2024	5,000	4,852						
<b>Aramark Services, Inc.</b>								
6.375% due 05/01/2025	1,900	1,863						
<b>Aviation Capital Group LLC</b>								
5.500% due 12/15/2024	\$ 18,700	\$ 18,562						
<b>BGC Partners, Inc.</b>								
3.750% due 10/01/2024	10,618	10,373						
<b>Blackstone Private Credit Fund</b>								
4.700% due 03/24/2025	7,500	7,212						
<b>Boeing Co.</b>								
4.875% due 05/01/2025	5,000	4,989						
<b>Buckeye Partners LP</b>								
4.125% due 03/01/2025	2,500	2,318						
<b>Cedar Fair LP</b>								
5.500% due 05/01/2025	7,800	7,585						
<b>Continental Resources, Inc.</b>								
3.800% due 06/01/2024	9,500	9,388						
<b>Credit Acceptance Corp.</b>								
5.125% due 12/31/2024	8,400	7,931						
<b>CSC Holdings LLC</b>								
5.250% due 06/01/2024	4,400	4,121						
<b>CVR Energy, Inc.</b>								
5.250% due 02/15/2025	7,000	6,446						
<b>DAE Funding LLC</b>								
1.550% due 08/01/2024	5,400	5,062						
<b>Delta Air Lines, Inc.</b>								
7.000% due 05/01/2025	20,700	20,980						
<b>Devon Energy Corp.</b>								
5.250% due 09/15/2024	1,158	1,182						
<b>Edison International</b>								
4.950% due 04/15/2025	16,593	16,651						
<b>EnLink Midstream Partners LP</b>								
4.150% due 06/01/2025	7,000	6,530						
<b>EPR Properties</b>								
4.500% due 04/01/2025	5,200	5,104						
<b>EQM Midstream Partners LP</b>								
4.000% due 08/01/2024	1,927	1,793						
<b>Expedia Group, Inc.</b>								
6.250% due 05/01/2025	13,300	13,714						
<b>Ford Motor Credit Co. LLC</b>								
2.300% due 02/10/2025	4,000	3,600						
<b>Freedom Mortgage Corp.</b>								
8.250% due 04/15/2025	8,774	7,397						
<b>FS KKR Capital Corp.</b>								
4.125% due 02/01/2025	19,983	18,968						
<b>GLP Capital LP</b>								
5.250% due 06/01/2025	6,100	5,994						
<b>Hilton Domestic Operating Co., Inc.</b>								
5.375% due 05/01/2025	7,600	7,467						
<b>Howmet Aerospace, Inc.</b>								
5.125% due 10/01/2024	9,100	9,037						
<b>Hyatt Hotels Corp.</b>								
5.625% due 04/23/2025	7,200	7,300						
<b>KAR Auction Services, Inc.</b>								
5.125% due 06/01/2025	7,900	7,528						
<b>Las Vegas Sands Corp.</b>								
3.200% due 08/08/2024	7,800	7,376						
<b>Legacy LifePoint Health LLC</b>								
6.750% due 04/15/2025	7,000	6,777						
<b>Live Nation Entertainment, Inc.</b>								
4.875% due 11/01/2024	\$ 4,500	\$ 4,306						
<b>Marriott International, Inc.</b>								
3.750% due 03/15/2025	5,100	5,067						
<b>Mauser Packaging Solutions Holding Co.</b>								
5.500% due 04/15/2024	1,900	1,818						
<b>Metropolitan Edison Co.</b>								
4.000% due 04/15/2025	6,940	6,835						
<b>MGM Resorts International</b>								
6.750% due 05/01/2025	5,100	5,012						
<b>Midwest Connector Capital Co. LLC</b>								
3.900% due 04/01/2024	24,100	23,666						
<b>Newmark Group, Inc.</b>								
6.125% due 11/15/2023	13,700	13,673						
<b>NextEra Energy Operating Partners LP</b>								
4.250% due 07/15/2024	5,100	4,887						
<b>Omega Healthcare Investors, Inc.</b>								
4.500% due 01/15/2025	13,300	13,195						
<b>OneMain Finance Corp.</b>								
6.875% due 03/15/2025	750	712						
<b>Owl Rock Capital Corp.</b>								
4.000% due 03/30/2025	15,000	14,127						
<b>Pacific Gas &amp; Electric Co.</b>								
3.750% due 02/15/2024	5,000	4,890						
<b>Park Intermediate Holdings LLC</b>								
7.500% due 06/01/2025	10,000	9,994						
<b>PBF Holding Co. LLC</b>								
9.250% due 05/15/2025	7,000	7,328						
<b>Prime Security Services Borrower LLC</b>								
5.250% due 04/15/2024	1,900	1,861						
<b>Radian Group, Inc.</b>								
6.625% due 03/15/2025	19,600	19,171						
<b>Sabre GLBL, Inc.</b>								
9.250% due 04/15/2025	6,700	6,469						
<b>Santander Holdings USA, Inc.</b>								
3.450% due 06/02/2025	7,500	7,220						
<b>Southwest Airlines Co.</b>								
5.250% due 05/04/2025	6,265	6,392						
<b>Southwestern Energy Co.</b>								
5.950% due 01/23/2025	2,579	2,552						
<b>Spirit AeroSystems, Inc.</b>								
5.500% due 01/15/2025	7,000	6,487						
7.500% due 04/15/2025	6,000	5,590						
<b>Sprint Corp.</b>								
7.625% due 02/15/2025	1,200	1,253						
<b>Starwood Property Trust, Inc.</b>								
4.750% due 03/15/2025	4,000	3,701						
5.500% due 11/01/2023	2,000	1,981						
<b>Triumph Group, Inc.</b>								
8.875% due 06/01/2024	4,530	4,569						
<b>U.S. Foods, Inc.</b>								
6.250% due 04/15/2025	1,800	1,799						
<b>Vail Resorts, Inc.</b>								
6.250% due 05/15/2025	11,500	11,505						
<b>VICI Properties LP</b>								
3.500% due 02/15/2025	1,800	1,687						
5.625% due 05/01/2024	7,000	6,927						



PIMCO グローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06 (限定追加型)

	額面 (単位：千)	評価額 (単位：千)
<b>Vistra Operations Co. LLC</b>		
3.550% due 07/15/2024	7,850	7,585
<b>Vornado Realty LP</b>		
3.500% due 01/15/2025	\$ 1,312	\$ 1,271
<b>Western Midstream Operating LP</b>		
3.950% due 06/01/2025	4,200	3,971
<b>Wynn Las Vegas LLC</b>		
5.500% due 03/01/2025	4,900	4,483
<b>XPO Logistics, Inc.</b>		
6.250% due 05/01/2025	4,550	4,524
<b>ZF North America Capital, Inc.</b>		
4.750% due 04/29/2025	5,000	4,626
<b>米国 計</b>		<b>469,234</b>
(取得原価 505,342ドル)		
<b>短期金融商品 9.3%</b>		
<b>債券貸借取引 2.7%</b>		
		21,900
<b>定期預金 0.6%</b>		
<b>Australia and New Zealand Banking Group Ltd.</b>		
1.060% due 07/01/2022	84	84
<b>Bank of Nova Scotia</b>		
1.060% due 07/01/2022	116	116
<b>BNP Paribas Bank</b>		
1.060% due 07/01/2022	3	3
<b>Brown Brothers Harriman &amp; Co.</b>		
(0.360%) due 07/01/2022	¥ 41	0
<b>Citibank N.A.</b>		
1.060% due 07/01/2022	\$ 472	472
<b>DBS Bank Ltd.</b>		
1.060% due 07/01/2022	397	397
<b>JPMorgan Chase Bank N.A.</b>		
1.060% due 07/01/2022	943	943
<b>MUFG Bank Ltd.</b>		
(0.360%) due 07/01/2022	¥ 33,103	244
<b>Royal Bank of Canada</b>		
1.060% due 07/01/2022	\$ 44	44
<b>Sumitomo Mitsui Banking Corp.</b>		
(0.360%) due 07/01/2022	¥ 28,119	207
1.060% due 07/01/2022	\$ 419	419
<b>Sumitomo Mitsui Trust Bank Ltd.</b>		
(0.360%) due 07/01/2022	¥ 129,230	951
1.060% due 07/01/2022	\$ 896	896
		<b>4,776</b>
<b>米国財務省短期証券 6.0%</b>		
0.712% due 07/26/2022 (c)	16,900	16,888
0.740% due 07/12/2022 (c)	7,300	7,298
0.787% due 07/14/2022 (d)	1,200	1,200
0.888% due 07/28/2022 (d)	9,300	9,292
1.123% due 09/01/2022 (d)	6,100	6,084
1.152% due 08/09/2022 (d)	2,500	2,497
1.758% due 09/29/2022 (d)	7,000	6,971
		<b>50,230</b>
<b>短期金融商品 計</b>		<b>76,906</b>
(取得原価 76,914ドル)		

	評価額 (単位：千)
<b>有価証券投資 計 97.3%</b>	<b>\$ 802,964</b>
(取得原価 890,146ドル)	
<b>金融デリバティブ商品 (6.9%)</b>	<b>(57,161)</b>
(取得原価又はプレミアム 計 0ドル)	
<b>その他資産及び負債 計 9.6%</b>	<b>\$ 79,784</b>
<b>純資産 100.0%</b>	<b>\$ 825,587</b>

\$ : 米ドル、 ¥ : 日本円

# マネー・トラスト・マザーファンド

第7期（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
3 期（2018年10月12日）	円	9,986	△0.1%	68.2%	百万円 10
4 期（2019年10月15日）		9,980	△0.1	68.7	10
5 期（2020年10月12日）		9,970	△0.1	74.8	12
6 期（2021年10月12日）		9,962	△0.1	70.1	15
7 期（2022年10月12日）		9,958	△0.0	73.8	15

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

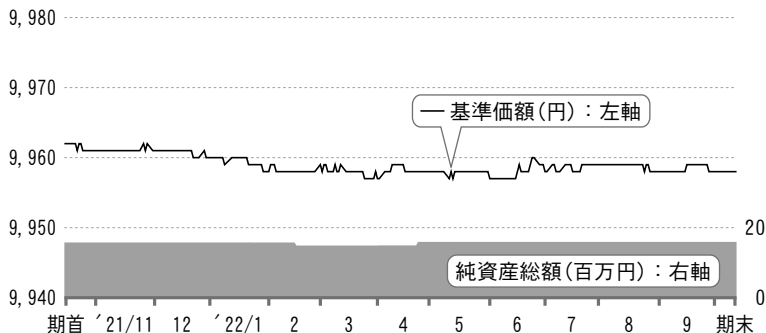
年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率
		騰 落	率	
(期 首) 2021年10月12日	円	9,962	% -	% 70.1
10月末		9,961	△0.0	70.1
11月末		9,961	△0.0	70.0
12月末		9,960	△0.0	73.9
2022年 1 月末		9,958	△0.0	73.9
2 月末		9,959	△0.0	78.1
3 月末		9,957	△0.1	78.2
4 月末		9,958	△0.0	73.0
5 月末		9,957	△0.1	73.8
6 月末		9,958	△0.0	73.8
7 月末		9,959	△0.0	73.7
8 月末		9,958	△0.0	73.7
9 月末		9,958	△0.0	73.8
(期 末) 2022年10月12日		9,958	△0.0	73.8

※騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

### 基準価額等の推移



期首	9,962円
期末	9,958円
騰落率	-0.0%

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

### 下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

## ▶ 投資環境について（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

短期金利は低下しました。

2月のロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに商品市況が高騰したことから、世界的にインフレ圧力が強まりました。また、インフレが高止まりを続けたことから、各国中央銀行が大幅な利上げを継続した結果、為替市場では円安が加速しました。これらの影響により国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+3%近辺まで上昇しました。しかし、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方から、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀が金融政策を据え置いたことや、需給動向を勘案し短期国債の買入れ額を調整したことから、期初より概ね横ばいで推移しました。期末にかけては、年未満運用二重が急速に強まったことから、一時的に大きく低下しました。

## ▶ ポートフォリオについて（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しの下、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

## ▶ ベンチマークとの差異について（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

商品市況の高騰や為替の円安を背景に、当面は物価上昇率の高止まりが続きますが、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方を維持し、マイナス金利政策を継続する見込みです。従って、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

### ■ 1万口当たりの費用明細（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	0	0.005	

期中の平均基準価額は9,959円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国内	特 殊 債 券	11,797	(11,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2021年10月13日から2022年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	11,700 (11,700)	11,759 (11,759)	73.8 (73.8)	— (—)	— (—)	— (—)	73.8 (73.8)
合 計	11,700 (11,700)	11,759 (11,759)	73.8 (73.8)	— (—)	— (—)	— (—)	73.8 (73.8)

※ ( ) 内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘	柄	期		末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
			%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除く金融債券)	180	政保道路機構	0.7340	3,000	3,005	2022/12/28
	189	政保道路機構	0.5410	2,800	2,809	2023/04/28
	2	政保新関西空港	0.8820	2,900	2,919	2023/06/27
	200	政保道路機構	0.8010	3,000	3,025	2023/09/29
合		計	—	11,700	11,759	—

## ■ 投資信託財産の構成

(2022年10月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	11,759千円	73.8%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,182	26.2
投 資 信 託 財 産 総 額	15,942	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	15,942,148円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,163,216
公 社 債(評価額)	11,759,406
未 収 利 息	15,379
前 払 費 用	4,147
(B) 負 債	83
そ の 他 未 払 費 用	83
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	15,942,065
元 本	16,009,841
次 期 繰 越 損 益 金	△ 67,776
(D) 受 益 権 総 口 数	16,009,841口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,958円

※当期における期首元本額15,836,660円、期中追加設定元本額1,044,392円、期中一部解約元本額871,211円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)	2,543,560円
ライフ・ジャーニー(かしこく使うコース)	2,453,434円
ライフ・ジャーニー(充実して楽しむコース)	721,009円
人生100年時代・世界分散ファンド(資産成長型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(3%目標受取型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(6%目標受取型)	100,141円
人生100年応援ファンド(資産成長コース)	64,109円
人生100年応援ファンド(ちよっぴり受取コース)	32,055円
人生100年応援ファンド(おもいっきり受取コース)	24,041円
MF S・グローバル株式ファンド	100,181円
テトラ・エクイティ	1,503,157円
ボンド・ゼロトリプル(予想分配金提示型)	300,632円
ボンド・ゼロトリプル(資産成長型)	300,632円
テトラ・ネクスト	3,712,251円
MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジあり)	1,003,311円
MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	1,003,311円
PIMCOグローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06(限定追加型)	903,343円
パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(資産成長型)	20,087円
パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(予想分配金提示型)	20,087円
クライメイト・ソリューション・ファンド	1,004,218円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2021年10月13日 至2022年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	89,730円
受 取 利 息	91,481
支 払 利 損	△ 1,751
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 95,428
売 買 損 益	△ 95,428
(C) そ の 他 費 用 等	△ 714
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 6,412
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 60,632
(F) 解 約 差 損 益 金	3,660
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,392
(H) 合 計(D+E+F+G)	△ 67,776
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 67,776

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。